



埼玉県舞踊協会ニュース

埼玉県舞踊協会
NO.52

Saitama Dance Association

発行所：埼玉県舞踊協会
発行者：中村 友美
埼玉県さいたま市浦和区東仲町 1-16 鳥昇ビル 3F
TEL:048-882-7530 FAX:048-882-7549

第53回 埼玉全国舞踊コンクール

《モダンダンス部門・創作舞踊部門》
2021年7月17日(土)～7月19日(月)
さいたま市文化センター 大・小ホール

主催◎埼玉県舞踊協会 共催◎(公財)さいたま市文化振興事業団
後援◎埼玉県/埼玉県議会/埼玉県教育委員会/(一社)埼玉県文化団体連合会
朝日新聞さいたま総局/埼玉新聞社/東京新聞さいたま支局
毎日新聞さいたま支局/読売新聞さいたま支局/テレビ埼玉/チャコット(株)
(一社)現代舞踊協会/(公社)日本バレエ協会/(公財)橋秋子記念財団
審査員◎1部(成人の部)佐々木涼子/坂田守/馬場ひかり
[ジュニア部]高橋森彦/坂田守/馬場ひかり
[2部(児童の部)]池野恵/坂田守/馬場ひかり
[創作舞踊部門]うらわまこと/佐藤まいみ/篠原聖一/中村恵恵/深田博治

第54回 バレエ・モダンダンス フェスティバル 開催

2022年3月6日(日)
埼玉会館 大ホール
Aプロ 開演 16:00
Bプロ 開演 18:00 (予定)
埼玉県舞踊協会の伸びゆく門下生が
春練り広げる楽しい舞台!

「栗りの秋」にほぐれい!

埼玉県舞踊協会会長 中村友美

八年ぶりの中秋の名月は美しくコロナ禍で沈んでいる心を和ませてくれました。会員の皆様にはお変わりなく各地域で活動が続けられてきました。深く御礼申し上げます。爽やかな秋風の中「森」や「わらかな風と森編」制作担当者は開催10/24に向けてのライヴ配信撮影を先日済ませました。この秋の埼玉舞踊協会主催、楽しいイベントです。是非皆様お友達をお誘い下さり会場、国営武蔵丘陵森林公園へお出かけください。

今年はいかに現代舞踊といったあたりきたりな表現が少なくなつて、演出や表現がより個性的になつたと感じました。衣装も色や形にさまざまな工夫が見えてきました。あえて難を言えば、作品構成への配慮が乏しい作品が気になつたかと。短くても、始まりがあつて終わりがあつた。その間をつなぐ時間に起伏や変化、あるいは物語に似たものがあれば、観る側も共感しやすいし、また演じる側にとっても気持ちを保ちやすく、全体の流れを掴み易くなると思います。

技術的な面で感じたのは、身体造形の点でまだまだ磨き上げる余地を残した演技が多かつたこと。肝心の形をもちと練り上げれば、ダンスの性質が膨らむのに、残念に思うところもいくつかありました。形を磨くというのは、決して好意でエラガトなポイントをするのではなく、それぞれの局面での自分の思いがどのように形になつていくか、そこを検討吟味するということです。指先の形、首の傾け、方一つが大きな違いを生むことに気づいてほしい。納得のいく形になれば表現の喜びは何層にもなります。表現力のある独自の造形こそモダンダンスの特権なので、深く追求してほしいものです。

そういう意味からも、力まかせのこれみよがしなテクニックはむしろ逆効果。コンクールだから、難技を入れたいと思ふのも当然ですが、入れるなら無理なく前後の流れに溶け込ませるべき、そこまでするべきです。難しいテクニックは人をあつと言ひますが、それが全体の流れに上手なまはつてこそ、作品を輝かせる。モダンダンスのテクニックはそうあるべきだと思うのです。

また言葉も、脳で流れていけばいいのではまったくない、体の動きと響き合うことで昂揚感を限りなく膨らませます。曲に乗れば動きも楽になる。繰り返し音を聴いて動きを練り上げ、作品の完成度を上げてほしいです。

今年の審査では、結果の順位と私の判断がくく違つて、じつは内心首を傾げることもありました。でもモダンダンスで重要なのは個々人の世界観ですから、評価は人さまさまで当たり前。出演者の皆さんも一回の評価にめげずおこらず、自分の世界観と個性に自信を持って、自身を磨き続けてください。

評

モダンダンス1部(成人)

みよがしなテクニックはむしろ逆効果。コンクールだから、難技を入れたいと思ふのも当然ですが、入れるなら無理なく前後の流れに溶け込ませるべき、そこまでするべきです。難しいテクニックは人をあつと言ひますが、それが全体の流れに上手なまはつてこそ、作品を輝かせる。モダンダンスのテクニックはそうあるべきだと思うのです。

また言葉も、脳で流れていけばいいのではまったくない、体の動きと響き合うことで昂揚感を限りなく膨らませます。曲に乗れば動きも楽になる。繰り返し音を聴いて動きを練り上げ、作品の完成度を上げてほしいです。

今年の審査では、結果の順位と私の判断がくく違つて、じつは内心首を傾げることもありました。でもモダンダンスで重要なのは個々人の世界観ですから、評価は人さまさまで当たり前。出演者の皆さんも一回の評価にめげずおこらず、自分の世界観と個性に自信を持って、自身を磨き続けてください。

技術的な面で感じたのは、身体造形の点でまだまだ磨き上げる余地を残した演技が多かつたこと。肝心の形をもちと練り上げれば、ダンスの性質が膨らむのに、残念に思うところもいくつかありました。形を磨くというのは、決して好意でエラガトなポイントをするのではなく、それぞれの局面での自分の思いがどのように形になつていくか、そこを検討吟味するということです。指先の形、首の傾け、方一つが大きな違いを生むことに気づいてほしい。納得のいく形になれば表現の喜びは何層にもなります。表現力のある独自の造形こそモダンダンスの特権なので、深く追求してほしいものです。

そういう意味からも、力まかせのこれみよがしなテクニックはむしろ逆効果。コンクールだから、難技を入れたいと思ふのも当然ですが、入れるなら無理なく前後の流れに溶け込ませるべき、そこまでするべきです。難しいテクニックは人をあつと言ひますが、それが全体の流れに上手なまはつてこそ、作品を輝かせる。モダンダンスのテクニックはそうあるべきだと思うのです。

また言葉も、脳で流れていけばいいのではまったくない、体の動きと響き合うことで昂揚感を限りなく膨らませます。曲に乗れば動きも楽になる。繰り返し音を聴いて動きを練り上げ、作品の完成度を上げてほしいです。

モダンダンス

モダンダンス 1部(成人)



身に余る光栄な賞をいただき、非常に嬉しいです。指導して下さる先生方や応援し支えて下さる周りの方々のお力添えがあつてこそその結果です。感謝の気持ちを大切に、自分のできる表現の形を模索してまいります。

■1部(成人の部)

- | | | |
|-------|----------|-------|
| 第1位 | 埼玉県舞踊協会賞 | 鈴木 泰羽 |
| 第2位の1 | 埼玉県舞踊協会賞 | 富田奈保子 |
| 第2位の2 | 埼玉県舞踊協会賞 | 近藤みどり |
| 第3位の1 | 埼玉県舞踊協会賞 | 村松 千花 |
| 第3位の2 | 埼玉県舞踊協会賞 | 内田奈央子 |
| 第3位の3 | 埼玉県舞踊協会賞 | 伊藤 有美 |
| 第4位の1 | 埼玉県舞踊協会賞 | 藤井 彩加 |
| 第4位の2 | 埼玉県舞踊協会賞 | 小澤 早瀬 |
| 第4位の3 | 埼玉県舞踊協会賞 | 金森みずほ |
| 第4位の4 | 埼玉県舞踊協会賞 | 高桑津奈津 |
| 第4位の5 | 埼玉県舞踊協会賞 | 佐々木奏絵 |
| 第4位の6 | 埼玉県舞踊協会賞 | 鈴木 彩葉 |
| 第4位の7 | 埼玉県舞踊協会賞 | 千田沙也加 |

■ジュニアの部

- | | | |
|-------|----------|-------|
| 第1位 | 埼玉県舞踊協会賞 | 石橋 慶大 |
| 第2位の1 | 埼玉県舞踊協会賞 | 平塚 達也 |
| 第2位の2 | 埼玉県舞踊協会賞 | 伊與田稀日 |
| 第3位の1 | 埼玉県舞踊協会賞 | 西山叶和子 |
| 第3位の2 | 埼玉県舞踊協会賞 | 高橋あかね |
| 第3位の3 | 埼玉県舞踊協会賞 | 高野 凛 |
| 第3位の4 | 埼玉県舞踊協会賞 | 沖田 麻桜 |
| 第3位の5 | 埼玉県舞踊協会賞 | 市川 京 |
| 第3位の6 | 埼玉県舞踊協会賞 | 吉岡あおい |
| 第3位の7 | 埼玉県舞踊協会賞 | 近藤 丸音 |
| 第3位の8 | 埼玉県舞踊協会賞 | 高塚 祐希 |
| 第3位の9 | 埼玉県舞踊協会賞 | 関根 亜子 |

■2部(児童の部)

- | | | |
|-------|----------|--------|
| 第1位 | 埼玉県舞踊協会賞 | 神尾 海希 |
| 第2位の1 | 埼玉県舞踊協会賞 | 北原 怜奈 |
| 第2位の2 | 埼玉県舞踊協会賞 | 高橋 理子 |
| 第3位の1 | 埼玉県舞踊協会賞 | 久斗 彩寧 |
| 第3位の2 | 埼玉県舞踊協会賞 | 榎田 希乃 |
| 第3位の3 | 埼玉県舞踊協会賞 | 平野 栗佳 |
| 第3位の4 | 埼玉県舞踊協会賞 | 舟田 結平 |
| 第3位の5 | 埼玉県舞踊協会賞 | 池内 杏里 |
| 第3位の6 | 埼玉県舞踊協会賞 | 久保田 紗久 |
| 第3位の7 | 埼玉県舞踊協会賞 | 富岡 結衣 |
| 第3位の8 | 埼玉県舞踊協会賞 | 鈴木 美波 |
| 第3位の9 | 埼玉県舞踊協会賞 | 尾崎 紗那 |

モダンダンス ジュニアの部



この度は、このような素晴らしい賞をいただくことができ、とても光栄に思っております。これからも、先生方、家族をはじめ、自分を支えて下さった方々への感謝の気持ちを忘れず、ダンサーとして日々精進して参ります。

モダンダンス 2部(児童)



この度は第一位という素晴らしい賞を頂く事が出来、驚きと嬉しさで一杯です。ご指導下さった先生や支えて下さった方々から感謝しています。これからも努力して素敵な踊りができるよう頑張ります。

創作舞踊

創作舞踊部門



長年1位に手が届かない中、私の創作活動に真摯に向きあってくれた仲間達。そして下手の横好きの私を、3才から見守って下さった藤井利子先生に感謝の気持ちで一杯です。今後とも創作活動に動んでまいります。

■1部(成人の部)

- | | | |
|-----|------------|-------|
| 第1位 | 埼玉県舞踊協会賞 | 原島 マヤ |
| 第2位 | 埼玉県舞踊協会賞 | 加藤 里奈 |
| 第3位 | 埼玉県舞踊協会賞 | 坂本 舞 |
| 第4位 | 埼玉県舞踊協会奨励賞 | 清永 千智 |
| 第5位 | 埼玉県舞踊協会奨励賞 | 久慈恵里奈 |
| 第6位 | 埼玉県舞踊協会奨励賞 | 久慈恵里奈 |

審査曲数は140曲近い。本年は予選がなかったことも作用したのかもしれないが、3分の作品としてしっかりと仕上げられた演技が多かつた。全体的に印象に残つたのは、作品スタイルがより多様になったこと。いわゆるバレエベースのコンテンポラリーに近い感度の踊りもある。また、そこまでそういふスタイルを打ち出していなくても、バレエのトレーニングの裏打ちがあると感じられる演者が少なくない。そして、何よりも指導者の返りが注目される。彼らのコアな下が、中学生から高校生になる辺りくらいのゾーンに集まるようになり、踊り手の個性も生かした個性豊かな作品相次いだ。

審査結果も、多様なスタイルを反映する形になつたのではないかと。第1位の石橋慶大「adversary」(その先へ)、第2位の男性が続いたが、フィジカルの強さを生かしつつテーマを明快に伝えた。さらなる伸びしろを感じさせる勢いもプラスに働いたかと思ふ。第2位の伊與田稀日「光る塵」は、まさに長い髪が眼前に出現したかのごとき表現で魅せた。第3位の西山叶和子「ゆるる人魚」は、並みならぬ躍り心と生き生きとした表情で独自の世界を立ち上げた。第3位の2の高橋あかね「雨だれは私を溶かす」は、砂糖じやないか、雨だれは私を溶かす。第3位の3の高野凛「秘密の花園」は感性豊かな動き。それ以外も、上位入賞のなかにはエッジの利いたダンスや童心を感ぜさせる踊りが見られた。

昨年は2015年以来6年ぶり。中高生をこくりに審査するのは容易ではない。思春期で成長が早く、作風も童心を感じさせる踊りから成人顔負けの表現を魅せる演技まで様々ではないから。審査結果も、多様なスタイルを反映する形になつたのではないかと。第1位の石橋慶大「adversary」(その先へ)、第2位の男性が続いたが、フィジカルの強さを生かしつつテーマを明快に伝えた。さらなる伸びしろを感じさせる勢いもプラスに働いたかと思ふ。第2位の伊與田稀日「光る塵」は、まさに長い髪が眼前に出現したかのごとき表現で魅せた。第3位の西山叶和子「ゆるる人魚」は、並みならぬ躍り心と生き生きとした表情で独自の世界を立ち上げた。第3位の2の高橋あかね「雨だれは私を溶かす」は、砂糖じやないか、雨だれは私を溶かす。第3位の3の高野凛「秘密の花園」は感性豊かな動き。それ以外も、上位入賞のなかにはエッジの利いたダンスや童心を感ぜさせる踊りが見られた。

評

モダンダンスジュニア部

審査結果も、多様なスタイルを反映する形になつたのではないかと。第1位の石橋慶大「adversary」(その先へ)、第2位の男性が続いたが、フィジカルの強さを生かしつつテーマを明快に伝えた。さらなる伸びしろを感じさせる勢いもプラスに働いたかと思ふ。第2位の伊與田稀日「光る塵」は、まさに長い髪が眼前に出現したかのごとき表現で魅せた。第3位の西山叶和子「ゆるる人魚」は、並みならぬ躍り心と生き生きとした表情で独自の世界を立ち上げた。第3位の2の高橋あかね「雨だれは私を溶かす」は、砂糖じやないか、雨だれは私を溶かす。第3位の3の高野凛「秘密の花園」は感性豊かな動き。それ以外も、上位入賞のなかにはエッジの利いたダンスや童心を感ぜさせる踊りが見られた。

審査結果も、多様なスタイルを反映する形になつたのではないかと。第1位の石橋慶大「adversary」(その先へ)、第2位の男性が続いたが、フィジカルの強さを生かしつつテーマを明快に伝えた。さらなる伸びしろを感じさせる勢いもプラスに働いたかと思ふ。第2位の伊與田稀日「光る塵」は、まさに長い髪が眼前に出現したかのごとき表現で魅せた。第3位の西山叶和子「ゆるる人魚」は、並みならぬ躍り心と生き生きとした表情で独自の世界を立ち上げた。第3位の2の高橋あかね「雨だれは私を溶かす」は、砂糖じやないか、雨だれは私を溶かす。第3位の3の高野凛「秘密の花園」は感性豊かな動き。それ以外も、上位入賞のなかにはエッジの利いたダンスや童心を感ぜさせる踊りが見られた。

審査結果も、多様なスタイルを反映する形になつたのではないかと。第1位の石橋慶大「adversary」(その先へ)、第2位の男性が続いたが、フィジカルの強さを生かしつつテーマを明快に伝えた。さらなる伸びしろを感じさせる勢いもプラスに働いたかと思ふ。第2位の伊與田稀日「光る塵」は、まさに長い髪が眼前に出現したかのごとき表現で魅せた。第3位の西山叶和子「ゆるる人魚」は、並みならぬ躍り心と生き生きとした表情で独自の世界を立ち上げた。第3位の2の高橋あかね「雨だれは私を溶かす」は、砂糖じやないか、雨だれは私を溶かす。第3位の3の高野凛「秘密の花園」は感性豊かな動き。それ以外も、上位入賞のなかにはエッジの利いたダンスや童心を感ぜさせる踊りが見られた。

審査結果も、多様なスタイルを反映する形になつたのではないかと。第1位の石橋慶大「adversary」(その先へ)、第2位の男性が続いたが、フィジカルの強さを生かしつつテーマを明快に伝えた。さらなる伸びしろを感じさせる勢いもプラスに働いたかと思ふ。第2位の伊與田稀日「光る塵」は、まさに長い髪が眼前に出現したかのごとき表現で魅せた。第3位の西山叶和子「ゆるる人魚」は、並みならぬ躍り心と生き生きとした表情で独自の世界を立ち上げた。第3位の2の高橋あかね「雨だれは私を溶かす」は、砂糖じやないか、雨だれは私を溶かす。第3位の3の高野凛「秘密の花園」は感性豊かな動き。それ以外も、上位入賞のなかにはエッジの利いたダンスや童心を感ぜさせる踊りが見られた。

評

創作舞踊部門

コロナ禍のもと、昨年は中止、今年は一昨年よりも参加が激しいだろうと、すべての部門で予選の審査が行われました。創作はダンサー部門よりもさらに多岐、多数の人間関係や作業が求められるのに、一昨年と同じ14組が参加(一曲欠場)。困難を乗り越えての強い意欲が感じられました。全体に興味あるものも多く、楽しく拝見しました。

創作とは、たんに音楽に動きを振り付けるのではなく、作品としてなにを表現し、伝えたいか。そのためにテーマ、音楽、美術そして振付、これらを独創的にまとめ上げる必要があります。それを表現する出演者の力も大切ですが、第一は作品そのものです。

上位3作は、現代的なテーマとその具現手法に独特のものが見え、なかなかのレベル。第1位「心の垢」作者の原島マヤは、出演者と簡単な装置(道具)、主としてシートによって人間の、あるいは社会の負荷、悩みを表現する作品を作り続けています。この作品も7人、大きなシートに包まれた者ばかりで、交差させながら、格差や心にひそむ障害を描きました。続く加藤里奈の「昨今は、我々の直面するコロナ禍のもたらした人間関係への波紋を、3人(家族)との関係をもつて、マスク、消毒と、皮肉に、コミカルに表現、故郷を思う「峠の我が家」のメロディをさりげなくはさむなど、題名といつてもセンスがあります。第3位「鬼城」小澤尚子率いる岡山の環太平洋大学ダンス部。30人近い人の波、その3次元の造形は迫力十分。個と集団の関係、鬼(悪)コロナに立ち向かう人間たちも、あるいは蔓延するウイルスに押しつぶされる個人とも、流行の「鬼」といえる、その記号性をもっと明確にする、より強く伝えたかった。

4位の「剥がれ落ちるわたし」(山本舞は、3人を2対1の関係で変化させながら、「だれもが権利をもつ」というテクニクで、視覚的に象徴的に場の変化を表現。続く「作は女性」ユエト。まず「無面目」清水千智は和服の女性を黒下着の女性が付かず離れず接触、アイディアと動きの面白さで、また「コペルニクス」(久慈恵里奈)は金属のフレームを使つての関係の変化(コペルニクス)で、2人の関係の不条理のようなものがありました。それそれ動きはしっかりしており工夫もみえますが、作品タイトルの難解さがメッセージの理解と伝達を妨げているように思えます。

